



羽合小学校 学校通信

平成27年4月16日 NO.5

共に尊敬し合う事

4月12日に倉吉春祭りの行事として鎮霊神社奉納剣道大会が開かれました。開会式のあいさつの中で、オリンピックを控えて剣道の国際化についても触れられました。柔道のように国際化すべきかどうか、関係者の中でも様々な意見があるようです。

プロ野球などの中継を見ていると、「もっと闘志をむき出しにしてほしい」という解説者の発言をよく耳にします。やる気や悔しさをもっと顔や態度にあらわせということだと思います。確かに闘志溢れるプレーや選手を見ているとおもしろいのです。

一方、剣道では「残心」と言って、一本を打った後にも油断をせず相手に備えると共に、打たせてもらって自分の技量を伸ばすことができたという感謝の気持ちを示すことが大切にされます。だから、残心が無いことを理由に一本が取り消されることもあります。

また、試合場内でガッツポーズをとるような行為も許されません。将棋でも相手が投了した時、ガッツポーズをとる棋士はいません。

たいていの場合申し訳なさそうな顔をして「拾わせていただいた」「ゆるめていただいた」というような事を言ったりするようです。

どちらがよいのかというのは好みの問題なのだと思いますが、ここには日本人の特徴的なものがあるように感じます。たとえスポーツだとしても、自分の立場だけで喜んでいるのは見苦しいものだという考え方です。

闘争心なくしては勝者にはなれないのですが、勝者も、相手がいて試合が成り立つことを知り、敗者を思いやりいたわること、氣遣うことができるスポーツはもっともっと深みのあるものになっていくと思います。互いに健闘をたたえ合い、尊敬しあって共に研鑽できたりますます伸びていくことができると思います。

こどもたちの指導にあたっていただく指導者の皆さんには、既に、このことを意識してご指導いただいています。1点取ってうれしい、活躍できてうれしい、そんな気持ちがこどもたちのガッツポーズに弾けます。そんな時、わたしたちも相手への敬意と共に喜ぶたいものです。

【第37回桜杯争奪相撲選手権大会】

今年もさくら相撲の季節がやってきました。去年は女子団体が優勝するなど大活躍でした。今年も旋風を巻き起こすことができるか！応援をよろしくお願いします。

日 時：平成27年4月26日（日）8：30開会式

試合順： 9：00競技開始 中学校団体→小学校団体→中学生個人→小学校女子団体

12：30佐渡が嶽部屋の力士さんとぶつかり稽古 13：30小学生個人

場 所：倉吉市営すもう広場（市営陸上競技場の奥）

羽合小学校 寺谷英則